



2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月8日

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社
 コード番号 9656 URL <http://www.greenland.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江里口俊文

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 佐伯賢二

TEL 0968-66-2111

四半期報告書提出予定日 2019年5月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	1,693	6.9	76	261.2	74	383.9	54	366.4
2018年12月期第1四半期	1,583	2.3	21	30.4	15	29.3	11	27.9

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 72百万円 (%) 2018年12月期第1四半期 9百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	5.29	
2018年12月期第1四半期	1.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	21,601	11,020	51.0	1,066.11
2018年12月期	21,615	11,020	51.0	1,066.06

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 11,020百万円 2018年12月期 11,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		5.00		7.00	12.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		5.00		6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	0.1	500	11.5	480	12.4	300	0.5	29.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	10,346,683 株	2018年12月期	10,346,683 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	9,260 株	2018年12月期	9,253 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	10,337,424 株	2018年12月期1Q	10,337,430 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想ご利用に当たっての注意事項については、〔添付資料〕3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、ホテルセグメントにおける利用者数の減少により売上高が減少したものの、期間全体を通して天候に恵まれたこともあり、遊園地セグメント及びゴルフセグメントの利用者数が堅調に推移したため、売上高が大幅に増加し、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,693,332千円（前年同期比6.9%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加等により、営業利益は76,340千円（前年同期比261.2%増）、経常利益は74,023千円（前年同期比383.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は54,720千円（前年同期比366.4%増）となりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	1,693,332	1,583,753	109,579	6.9
営業利益	76,340	21,135	55,205	261.2
経常利益	74,023	15,296	58,726	383.9
親会社株主に帰属する四半期 純利益	54,720	11,733	42,987	366.4

報告セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①遊園地セグメント

北海道のスキー場は利用者数の減少により前年並みの売上高となりましたが、九州の遊園地が昨年全国公開された映画の話題性による認知度向上や、期間全体を通して好天に恵まれたこともあり、利用者数が過去10年で最高となったため、当セグメントの売上高は前年同期比138,875千円増収（+19.3%）の857,399千円となりました。

②ゴルフセグメント

3ゴルフ場は、1・2月が前年に比べ比較的穏やかな天候で利用者数が増加したため、当セグメントの売上高は前年同期比24,869千円増収（+12.3%）の227,022千円となりました。

③ホテルセグメント

九州及び北海道のホテルとも宴会部門が低調に推移したため、当セグメントの売上高は前年同期比31,462千円減収（△6.9%）の422,431千円となりました。

④不動産セグメント

不動産セグメントは、土地賃貸収入がほぼ前年並みとなったため、169千円増収（+0.4%）の39,250千円となりました。

⑤土木・建設資材セグメント

土木・建設資材セグメントは、運送業務の開始による売上高の増加はあったものの、客土用土販売の減少の影響が大きく、売上高は前年同期比22,873千円減収（△13.4%）の147,228千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

当第1四半期連結累計期間の資産額合計は21,601,974千円(前連結会計年度末比13,347千円減少)となりました。

流動資産は、800,212千円(前連結会計年度末比19,027千円増加)となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、商品及び製品で減少したものの、現金及び預金、その他(主に前払費用)が増加したことによるものであります。

固定資産は、20,801,761千円(前連結会計年度末比32,374千円減少)となりました。主な要因は投資有価証券、有形固定資産のその他(主に工具器具備品・建設仮勘定)で増加したものの、建物及び構築物、繰延税金資産が減少したことによるものであります。

流動負債は、3,790,103千円(前連結会計年度末比129,097千円減少)となりました。主な要因は営業未払金で増加したものの、短期借入金、未払法人税等、未払金が減少したことによるものであります。

固定負債は、6,791,049千円(前連結会計年度末比115,210千円増加)となりました。主な要因は長期預り金、その他(主に繰延税金負債)で減少したものの、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、11,020,821千円(前連結会計年度末比539千円増加)となりました。主な要因は配当により利益剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金で増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の業績予想につきましては、2019年2月14日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の経済情勢の変化や事業運営におけるさまざまな状況変化によって、予想の数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	321,118	366,430
受取手形及び売掛金	274,878	245,512
商品及び製品	72,012	49,971
原材料及び貯蔵品	49,849	46,186
販売用不動産	7,130	7,130
その他	60,276	89,319
貸倒引当金	△4,080	△4,338
流動資産合計	781,185	800,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,983,225	3,939,577
機械装置及び運搬具(純額)	601,137	591,054
土地	14,990,850	14,990,850
その他(純額)	217,217	245,041
有形固定資産合計	19,792,431	19,766,524
無形固定資産		
その他	246,236	247,952
無形固定資産合計	246,236	247,952
投資その他の資産		
投資有価証券	276,166	302,340
繰延税金資産	308,524	270,722
退職給付に係る資産	149,348	153,951
その他	62,529	61,370
貸倒引当金	△1,100	△1,100
投資その他の資産合計	795,468	787,284
固定資産合計	20,834,135	20,801,761
資産合計	21,615,321	21,601,974

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	79,757	81,611
営業未払金	125,453	267,049
短期借入金	3,068,590	2,923,562
未払金	387,519	327,251
未払法人税等	118,300	38,658
賞与引当金	-	25,428
その他	139,579	126,542
流動負債合計	3,919,200	3,790,103
固定負債		
長期借入金	3,777,971	3,952,477
長期預り金	2,725,842	2,703,342
退職給付に係る負債	7,953	8,028
その他	164,072	127,202
固定負債合計	6,675,839	6,791,049
負債合計	10,595,040	10,581,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	2,041,590	2,023,949
自己株式	△3,033	△3,036
株主資本合計	10,986,492	10,968,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,788	51,972
その他の包括利益累計額合計	33,788	51,972
純資産合計	11,020,281	11,020,821
負債純資産合計	21,615,321	21,601,974

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	1,583,753	1,693,332
売上原価	1,416,467	1,472,174
売上総利益	167,285	221,157
販売費及び一般管理費	146,150	144,817
営業利益	21,135	76,340
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1,350	1,620
受取賃貸料	2,080	2,080
受取保険金	791	4,427
雑収入	1,668	676
営業外収益合計	5,890	8,804
営業外費用		
支払利息	11,490	10,918
雑損失	238	202
営業外費用合計	11,729	11,121
経常利益	15,296	74,023
特別利益		
固定資産売却益	—	12
特別利益合計	—	12
特別損失		
固定資産除売却損	7	0
特別損失合計	7	0
税金等調整前四半期純利益	15,288	74,036
法人税、住民税及び事業税	6,578	25,685
法人税等調整額	△3,022	△6,370
法人税等合計	3,555	19,315
四半期純利益	11,733	54,720
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,733	54,720

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	11,733	54,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,005	18,183
その他の包括利益合計	△21,005	18,183
四半期包括利益	△9,272	72,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,272	72,904
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	718,524	202,152	453,893	39,081	170,101	1,583,753	-	1,583,753
セグメント間の内部売上高 又は振替高	995	2,832	6,317	4,804	6,619	21,569	△21,569	-
計	719,519	204,985	460,211	43,885	176,721	1,605,322	△21,569	1,583,753
セグメント利益又は損失(△)	78,851	△19,233	△21,794	27,393	37,163	102,380	△81,245	21,135

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△81,124千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	857,399	227,022	422,431	39,250	147,228	1,693,332	-	1,693,332
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,168	2,680	6,396	5,241	8,584	24,072	△24,072	-
計	858,568	229,703	428,828	44,492	155,812	1,717,404	△24,072	1,693,332
セグメント利益又は損失(△)	123,844	△4,227	△20,170	28,642	27,827	155,916	△79,576	76,340

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△78,922千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。